

クワガタムシ愛と、家族愛と

クワガタムシの絵をプリントしたTシャツを着た子が、受け付けにやって来ました。つぎは、「昆虫博士」と書いたTシャツを着た男の子2人です。声をかけると「クワガタ飼ってるよ」。もうヒートアップしています。

講師の大宮真一先生はスポーツが専門ですが、クワガタムシに関しては子どものころからの「歴戦の勇士」です。

虫好きが集まる講座。先生の話に熱心に聞いていた男の子は、すかさずお父さんやお母さんに解説しています。さすがです。



先生の話に一生懸命、イラスト入りで細かく丁寧にメモする女の子がいました。話を聞き逃さないようにとの気持ちが伝わってきます。

見ると、熱心なのは子どもたちだけじゃありません。

付き添いのお母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃんも先生の説明にうなずいたり、エピソードに驚いたりしています。子ども顔負けです。

みんな、それぞれに講座を楽しんでいるようでした。

平日だからか、引率はお父さんよりもお母さんの方が多かったのですが、あるお母さんに聞いてみました。「虫は苦手じゃないですか」。すると、「好きではなかったけど、子どもの好きなことを自分の好みでジャッジしたくないから」と、子どもの感性を大切にする答えが返ってきました。

実は、メモを取っていた女の子は虫が苦手で、参加に消極的だったようです。それでも参加したのは、虫好きの妹のためにメモを取るためだったそう。お姉ちゃんがメモしてくれることで、妹は先生の話を楽しく聞くことができていたようでした。

講座で伝えたかったのは「命の大切さ」です。

その講座から学んだことが、もうひとつあります。

それは、「だれかを想う大切さ」です。

(地域連携センター)

